

## 昭和の森子ども散策会

### 「自然とふれあう子ども散策会」

花島 伸美

日 時：平成 21 年 3 月 22 日（日）10：30～12：30

主催者：山武・長生自閉症協会

参加者：大人 6 名、子ども 5 名 計 11 名

指導員：山田益弘、後藤菊子、山下美佐子、花島伸美

昨年に引き続き、今年も山武・長生自閉症協会から当協議会に指導員派遣の依頼があり、昭和の森子ども観察会が実施されました。昨年と同様、アドベンチャー（宝さがし）カードを使い、各ポイントごとにテーマに沿った発見をし、見つけたらカードにシールを貼ることにしました。当日は、曇りで風も強く寒かったので、行動範囲を縮小し、振り返り昼食も管理事務所に変更しました。

#### 《ポイントA》「冒険広場」

テーマ①虫を探す

エノキの木の根元の枯れ葉や草の中にいる虫を探しました。ダンゴムシ・ツチイナゴの成虫を見つけ、カップレンズに入れ成虫越冬の説明をしました。

また、モグラ塚で、モグラの穴を見つけ棒を入れて深さや長さを知り、モグラの話をしました。

#### 《ポイントB》「市町村の森」

テーマ②穴のあいた葉っぱを探す

カシワ・コナラ・クヌギなどの葉に穴があいているのを見つけ、どうしてなのかを考え、また、穴から見える景色を覗きました。

テーマ③ドングリを探す

コナラ・クヌギ・カシワなどのドングリやかくとを探しました。

特に、クヌギは丸くて人気がありました。

テーマ④鳥を探す

散策中に、ヒヨドリ・カラス・ハクセキレイを見ました。

#### 《ポイントC》「第1駐車場近くの花壇」

テーマ⑤きれいな花を探す

色合わせカードを使って、青系、黄系、オレンジ系などの様々な色のパンジー色を決めました。お母さんが楽しそうでした。

テーマ⑥私の発見

観察会を通して、見たものの中から「私の発見」を振り返りで発表しました。

#### 《まとめ》

今回は、室内での振り返りとなりましたが、カードにはどの参加者もシールがびっしり貼られ、楽しみながらもよく観察してくれたことが分かりました。紙芝居「テントウムシ」もよく見てもらい参加者とも楽しい語らいができました。特に、虫に関しては深い知識と興味を持っている参加者がいて、自発的に参加してくれたことがよく分かりました。「毎年続けられたらいいね」と笑顔で終わりました。